

研究指導の概要

■ 情報理工学位プログラム

【課程：博士前期課程】

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
1 年次	春	A	・指導教員の指導の下，研究に必要な知識と能力を習得し，修了に必要なコンピテンスを獲得できるよう，履修計画を立てる。
		B	・指導教員の指導の下，研究テーマを決定する。 ・授業科目を受講し，自らの研究テーマの基礎となる知識を習得する。
		C	・2年次学生による中間発表を聴講し，情報理工学における研究トピックを知るとともに，研究発表の手法について学ぶ。
	秋	A	・指導教員の指導の下，関連研究を調査し，研究を実施する。 ・授業科目を受講し，自らの研究テーマの基礎となる知識を習得する。 ・CSセミナーにおいて研究の途中経過を発表し，フィードバックを得るとともに，他者の発表の聴講を通して情報理工学における研究トピックについて学ぶ。
		B	【評価】
		C	・達成度評価の中間評価を実施し，これまでのコンピテンスの習得状況と今後の学修計画を確認する。（達成度評価は，主指導教員＋副指導教員＋学生本人の3名によるディスカッションにより実施する。）
2 年次	春	A	・指導教員の指導の下，研究を実施する。
		B	・授業科目を受講し，自らの研究テーマの基礎となる知識を習得する。
		C	・修士論文中間発表を行い，研究の進捗状況，研究発表技術・技術文書執筆能力の習得状況に関して，教員および他の学生からフィードバックを得る。
	秋	A	・指導教員の指導の下，研究を実施する。 ・授業科目を受講し，情報理工学の専門知識および関連分野の知識を習得する。
		B	・学位論文執筆を通して一連の研究成果をまとめる。 ・学位論文審査会において研究成果を発表する。
		C	【評価】 ・学位論文審査会を実施するとともに達成度評価の最終審査を行い，学位取得のために必要な全てのコンピテンスが習得されていることを確認する。